視唱・視奏



出題:単旋律一題

受験生は、出願時に試験当日の演奏手段(歌唱・専攻楽器・ピアノ)を申告する。

楽譜は高音部譜表と低音部譜表の準備がある。申告した楽器の音域によって、

試験当日の予見練習時に、いずれかの適切な楽譜を選択する。

予見:楽譜が渡されてから、20分の予見および練習時間がある。

移調楽器の場合、運指(記譜)による演奏、実音での演奏、どちらでも良い。

受験生は一人一部屋の練習室が与えられる。その際、楽譜への書き込み・記入等は可能だが、

試験時には書き込みのされていない楽譜を改めて渡す。

試験:試験場は練習室と異なる部屋になることもある。